



研究部だより

平成29年3月
事務職員会研究部



3月に入り、何かと慌ただしい時期を迎えました。来年度の権限移譲に向けての準備も加わり忙しさが増しているのではないのでしょうか。

この権限移譲により、事務職員の役割などにも変化が出てくるのかもしれませんが、研究部では、その先を見据え、これからの事務職員の在り方を視野に入れて研究していきたいと思えます。

本年度も研究部活動にご協力いただき、ありがとうございました！

平成28年度 活動報告

活動プランの2年目となる今年度は「学校予算」を研究の重点として取り組みました。

昨年度の研究の重点である「学校事務職員の専門性と役割」を意識したうえで、事務職員が、「学校予算」に対し、どのように関わっていけば「子どもの豊かな育ち」につながるのか研究を進めてきました。

10月全体会では、「総合的な予算管理」と「学校予算マネジメント」の2点に絞って「学校予算」と事務職員の関わりや予算委員会の在り方などを提案しました。また、新潟市立東松の下小学校の松野千恵美事務長を講師に迎え、新潟市や勤務校での取り組みについてお話をいただきました。

その後、11月の支部の話し合いでは、全体会を受けて「学校予算」に対する意識や考え方について再確認をしたり、今後における個人や共同実施での実践につながる話し合いができたのではないのでしょうか。

「学校予算」は、事務職員が一番能力を発揮できる場です。事務職員が積極的に「学校予算」に関わっていくことや、共同実施を活用して「学校予算」への取り組みをより充実していくことが、必ず「教育の質を高める」こととなります。今回の研究を「全員の一步」とし、「子どもの豊かな育ち」の実現につなげていきましょう。



平成29年度 活動方針

来年度の研究の重点は「教育課程」です。教育課程への理解を深め、事務職員の専門性を教育課程編成にも発揮し、他職種と協働しながら、教育を創造し、教育の質を高めていけたらと考えています。研究部では、「教育課程」と事務職員がどのように関わっていくことが教育の質を高めることにつながるのか、理想の姿やカタチを皆さんに提示していきます。

来年度も研究部活動にご協力よろしくお願ひします！